※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　理数科

教科	理数	科目	理数生物	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　生物」　（第一学習社）						
副教材等	ニューステージ生物図表（浜島書店）、セミナー生物（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の授業では、「生命の基本単位である細胞のつくりや働きと、そこで起こる代謝や遺伝子の発現などを学び、生命活動の本質を理解する」ことを目標にしています。生物基礎の学習で身につけた知識を基盤として、生物や生命現象についてのより詳細かつ正確な知識の習得をめざします。また、実験や観察などを通して、生物や生命現象を探究するための技能や知識を習得するとともに、その豊富な知識を活用する力を養い、自分で導き出した考えを的確に表現することをめざします。

２　学習の到達目標

・１年次に学習した基礎的な細胞・代謝・DNA・恒常性の学習に続き、各分野でより発展的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
・観察、実験などを行い生物学的に探究する力を身に付ける。
・生物的な事物・現象に主体的に関わるとともに、自らの学びを振り返り、課題意識をもって学習しようとする態度を養おうとする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。 生物や生命現象に関する観察、実験などの探究活動を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生命現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生命現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方、学ぶ態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の進化と系統	生物の進化 生物の系統と進化	a：生物の起源、進化のしくみについて理解し、正確な知識を身につけている。 b：生物の起源、進化のしくみについて考察し、考えを表現できる。 c：生物の起源、進化のしくみに関心を示す。	観察・実験 定期考査	観察・実験 定期考査	ノート 振り返りシート
2学期	生命現象と物質	細胞と分子 代謝	a：生命現象を支える物質の働きについて理解し、正確な知識を身につけている。実験、観察などを行い、探究方法を理解・習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録・整理している。 b：生命現象を支える物質の働きについて考察し、考えを表現できる。 c：生命現象を支える物質の働きに関心を示す。	観察・実験 定期考査	観察・実験 定期考査	ノート 振り返りシート
3学期	遺伝情報の発現と発生	遺伝情報とその発現	a：遺伝子の発現のしくみについて理解し、正確な知識を身につけている。 b：遺伝子の発現のしくみについて考察し、考えを表現できる。 c：遺伝子の発現のしくみに関心を示す。	観察・実験 定期考査	観察・実験 定期考査	ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度